

経済学部

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

経済学部は、次に定める資質を身につけた者に、学士の学位を授与します。

1. 独立自彊の建学精神に則り、社会に貢献するキャリアに邁進できる。
2. 経済を分析・洞察する社会科学の方法を修得し、駆使できる。
3. 経済全般並びに商都大阪をはじめ、永く関わる社会事象に関する専門知識を吸収して、活用できる。
4. 変化する社会経済に向けて、学識を基にした先取的な提案を行い、実践する力を発揮できる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

経済学部では、次に示す方針に従い、教育課程を編成します。

1. 共通教育科目を初年次中心に 28 単位以上修得し、かつ、経済学部の学科科目を 68 単位以上修得して、合計で 124 単位以上修得することを課す。社会からの要請に応じて、授業科目以外の学習機会を広げ、ディプロマポリシーの実効性を確保するカリキュラムとなるように、継続的に取り組む。

<必修科目群>

2. 少人数の演習系科目として、1年次の「初級演習」、2年次の「コース演習」「専門演習Ⅰ」、3年次の「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」、4年次の「専門演習Ⅳ」の合計 12 単位を必修とする。

<学部共通科目群>

3. 経済を分析・洞察する社会科学の方法を修得できるように、学部共通科目を設置し、そのうち 10 単位以上の修得を卒業要件とする。学部共通科目として、1年次に「実践基礎経済学」を、4年次に「論文演習」を提供する。

<学部共通以外科目群>

4. 専門知識を系統立って吸収し、社会に向けて実践する力を発揮できるように、学部共通科目以外の選択必修科目を設置する。2 年次には7つのコース分野に分かれて専門学習に集中できるように、コース毎の基幹的な選択必修科目を履修するカリキュラムとする。3 年次、4 年次には、専門的な学識を基に社会に向けて実践・応用することに主眼を置く選択必修科目を提供する。

<学部共通以外科目群>

5. 社会事象に関する専門知識を吸収して、積極的に活用できるように、競争選抜型の選択必修科目(OE50 特別プログラム科目と称する。)を 2 年次、3 年次に提供する。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

経済学部では、商都大阪を基盤にし、世界に通用する経済教育を目指しています。経済学の知的最前線を学ぶ中で、経済分析力や論理的思考を身につけ、問題解決力や構想力を培い、卒業後も生涯にわたって学ぶ姿勢を保つことができ、行動力とチームワークを身につけたビジネスリーダーをはじめとして、社会に役立つ人材の養成を目標としています。

こうした目標を達成するため、経済学部では

1. 政治・経済・社会問題に対して知的好奇心と、自主的・積極的に問題解決に取り組もうとする強い意志
2. 豊かな構想力と人間性を身につけるために、経済学を中心に幅広い分野の学問を積極的に学び取れる思考力
3. 経済学に関する専門知識を基に、経済・産業界のリーダーとして活躍しようとする意欲

以上のような意欲と能力を持つ入学者を求めています。

経済学では、経済現象だけでなく、世界や日本の歴史、社会問題を分析し考察します。そのためには、国語、地理歴史、公民、数学、英語の各科目についての十分な知識を有し、それらの根本を理解していることが必要です。たとえば、経済統計を学ぶには数学の知識が、グローバル化著しい経済を理解するには地理や歴史の考察が、文章を理解し正確なコミュニケーションをするためには国語や英語の運用能力が必要です。これらの力は経済学を学ぶ上でぜひ身につけておきたい能力です。